

図書室だより

国宝(上下)

吉田修一..著



映画「砂の器」が封切られたころ、「原作を読んでから映画を観るのが良いか、映画を観てから原作を読むのが良いか」について下宿の仲間と徹夜して議論したのはもう50年以上前のことにな

る。映画「砂の器」の出来栄が素晴らしく、かつ我々が受けたインパクトが余りにも大きかったので、あの時の議論は今でも鮮明に覚えている。ちなみに私は原作を先に読んでいたので、自ずと前者支持派だったが。さて本書は長崎のやくざの息子である喜久雄が、細いきずな

にして大成し、人間国宝になるまでを描く大河小説だが、その過程に立ちはだかる苦難や人間模様を人間の持つどろどろとした面を避けることなく丁寧に描き出した大作です。準主役の俊介はじめ登場人物一人一人が生き生きとして描かれているのも好ましい。今回、映画を先に観てから本書を読んだが、これまたなかなか趣きがあつて悪くなかった。映画も原作も「S」です。

勇気の花がひらくとき

梯久美子..著

NHKの連続テレビ小説「あんぱん」の放映が終わりました。毎朝見られた方もおられるのではないのでしょうか。この本では、アンパンマンの作者であるやなせたかしの生涯をテンポよくたどり、作品に込められた思いをわかり易く教えてくれます。「どの国も自分こそが正しい」と言

って戦争をするが、正義の戦争なんてないんだ。本当の正義とは



お腹が空いている人に、食べ物に分けてあげることだ」という信念が「アンパンマン」の背骨になっている。『子供向けだから』と言つてレベルを下げてはいけ

大人のための地学の教室

鎌田浩毅..著

トランプ大統領が先の国連総会で「温暖化対策は世界史上最

はかくいう私も「またあんなこと言つたらあ」とあきらめ顔で家内に話したところでありすが、本書を読んだ今、トランプ大統領の発言が必ずしも的外れではないのかも知れないと思うようになった。本書はこれ



暖かき日射しを浴びて野蒜摘む手作り味噌に味をたくして 奥 千英子
絆創膏あごに貼りいる幼子にどうしたと問えば炬燵の角さわりぬ 世古 忠子
吉野家のタッチ機に触れ戸惑う吾にえくぼを見せて男の子手を貸す 東 ひとみ
夫婦して「ホタル」聴き涙する平和ボケせず生きていきたい 榊田 歌民
我を診る医師は真顔で無理するな良い医師に逢ひ深く感謝す 正崎 光代
初七日の微笑む母を月に見てこころ晴れゆき暇聞じけり 吉田 敬
街の灯のしだいに遠く流れゆくレールの軋む音を残して 畑下 雅昭

いさな俳壇

歌会始祈る平和の大御歌(天皇の歌) 禹 敬

書道家の読めぬ字のある賀状かな 泰地みちこ

寒の水飲めと湧き井戸コップ置く 上田ヒサミ

鯨波339号掲載の短歌訂正について

令和8年1月発行の公民館報「鯨波」339号につきまして、掲載した鯨波歌壇に誤りがありましたので、次のおり訂正します。皆様へ多大なご迷惑をおかけしたことをおわび申し上げます。

訂正箇所

(誤) 異邦人のラーセンさん住居跡ススキの大株風に揺れおり 世古 忠子

(正) 異邦人のラーセンさんの住居跡ススキの大株風に揺れおり 世古 忠子

ま・め・な・か・に

97

清水 直希さんの家族



♡名前

清水 直希さん

♡住所 新宮市

♡職業(勤務先) 公務員

♡生きがい又は趣味 スポーツ鑑賞

♡太地在住の親族 父 母 弟

♡幼友達(平成14年太地小学校卒業)

正崎大士さん、白水佑哉さん、杉森貴憲さん、土山健治さん、濱中大郎さん、浦木悠圭さんなど平成14年太地小学校卒業の27人

♡あとひと言ふた言

月1回、家族と共に太地町の実家を訪れています。今回の依頼を受けて、色々と考えていると、同級生と久しく連絡を取っていないことに、ふと気が付きました。みんな、元気になっているのだろうか。私はぼちぼちやっています。また、集まりたいな。当企画は太地を離れた人にコメントをもらっていると聞きました。私の同級生、太地を離れた人が多いです。この便りをご覧になられた私の同級生の親御様は、次、順番が回ってくるかもしれないよ、とご子息等にお伝えください。

